

あそびあひろばの1年



あそびあ キッチン の風景



外あそびの魅力

自然の中を駆けまわってワクワクドキドキしたり、転んですりむいてちよっぴり涙が出たり、どろんこでよごれたり、じーっと虫を観察したり、おひさまの光を浴びてのんびり過ごすことで、子どもの時にしか味わえない、刺激をたくさん感じられるのが外遊びなのです。外遊びは大人が思わず止めたくなくなる場面の連続ですが、それを共に見守ってくれるお母さん達がいるのがあそびあひろばです。今しかないこの時間を、親子一緒に外で過ごしてみませんか？

春 -spring-



ぬれてもおこらないで。だってクローバーのおふるきもちいいんだもん♪



夏 -summer-



泣いても、泣かせても、やっぱりともだち！



秋 -autumn-



言葉を育むって？

おもちゃの取り合いがはじまると、大人は「かして！って言うんだよ」と教えるけれど、それが言葉を育んでいると思ったり大間違い。それって、大人の都合を子どもに押し付けているだけ。子どもの立場じゃ、今使っているおもちゃを貸さないのは当然だよ。言葉をうまく使うことは、単語を覚えることじゃなく、「状況を見て」「ちよっぴり振る舞いをする」ことだよ。

感覚を育むって？

ちよっぴり温かさとか、ちよっぴり柔らかさを知るためには、「熱い・冷たい、硬い・柔らかい」両方の感覚を知る必要があるんだよ。外で自然のものにふれる遊びや泥だらけになったり、ケンカすることで「ちよっぴり感覚」をカラダで覚えていくんだって。誰かが教えて覚えるんじゃなくて、遊びを通じて、子どもは自分で獲得していくんだよ。



冬 -winter-

